

『未知への挑戦』とくしま行動計画改善見直しシート

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

主要事業実施工程表（1-1 移住交流拡大・深化する地方創生）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
20	1-1-2	77	東西部圏域（にし阿波）が、日本農業の原点である「世界農業遺産」や「食と農の景勝地」に認定されたことを契機に、持続力のある地域経済を実現するため、国内外への情報発信、伝統食材を活用した「もつかる農業」への取り組み、農泊の活性化及び次世代への継承を推進します。＜西部＞	推進									令和2年度の実績見込みが目標を大きく上回ると推計されるため、「世界農業遺産ブランド」の認知度向上を目指し、認証件数の目標数値を上方修正する。	西部	
			「世界農業遺産ブランド」認証件数（累計） ('17) - ('22) 50件	20件	40件	45件	50件	「世界農業遺産ブランド」認証件数（累計） ('17) - ('22) 80件	20件	40件	75件	80件			
			とくしま農林漁家民宿の宿泊者数（西部圏域） ('17) 2,265人 ('22) 2,800人	2,500人	2,600人	2,700人	2,800人								
			「世界農業遺産」戦略品目であるそば販売作付面積（累計） ('17) 28.7ha ('22) 33ha	30ha	31ha	32ha	33ha								
			「世界農業遺産」戦略品目であるごうしゅいもを栽培する農林漁家民宿等の数（累計） ('17) 25戸 ('22) 50戸	35戸	40戸	45戸	50戸								
			世界農業遺産フォーラム等の開催回数（累計） ('17) - ('22) 3回		1回	2回	3回								
			にし阿波新規就農サポートチーム(仮称)の創設 ('17) - ('20)創設					「にし阿波就農・移住応援隊」の創設 ('17) - ('20)創設							
21	1-1-2	78	本県農林水産業の成長産業化を実現するため、徳島大学「生物資源産業学部」をはじめとする高等教育研究機関や産業界との連携強化により、「サイエンスゾーン」等を拠点とし、新技術の開発や人材の育成に一体的に取り組みます。＜農林＞	推進									人材育成及び技術開発に向けた連携協定への参画を推進してきた結果、令和元年度に複数の企業が参画する連携協定の締結に至ったことから、数値目標を上方修正する。	農林	
			新技術の開発に向けた 大学・企業との共同研究数 ('17) 12件 ('19) - ('22) 年間12件	12件	12件	12件	12件								
			農業系大学生等による インターシップ参加者数 ('17) 176人 ('19) - ('22) 年間180人	180人	180人	180人	180人								
			新技術開発、人材育成等に向けた 新たな連携協定参画企業等数（累計） ('17) 2件 ('22) 7件	4件	5件	6件	7件	新技術開発、人材育成等に向けた 新たな連携協定参画企業等数（累計） ('17) 2件 ('22) 10件	4件	5件	9件	10件			
31	1-1-4	80	3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるよう、国内外からのスポーツ大会誘致や国際スポーツ交流を実施します。＜未来＞	推進									新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、2020年度の実績を目指していた交流会は全て中止となったが、令和元年度実績値が数値目標を上回ったこと、及び令和2年8月に徳島県スポーツコミッションを設立し、スポーツツーリズムの推進体制を強化したことから、県内開催件数を上方修正する。	未来	
			国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の 県内開催件数（累計） ('17) - ('22) 20件	5件	10件	15件	20件	国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の 県内開催件数（累計） ('17) - ('22) 40件	5件	10件	30件	40件			
35	1-1-5	81	路線バス、鉄道、フェリー等公共交通事業者や関係機関と連携し、外国人旅行者などを対象とした企画乗車券の発行やノーカーデーをはじめ、各種キャンペーンの開催などにより、公共交通の利用を促進します。＜県土＞	促進								新型コロナの影響により、利用者が大きく落ち込んだ公共交通の需要を回復させる取組みが重要であることから、所要の見直しを行う。	県土		

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

主要事業実施工程表（1-2 学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
54	1-2-2	85	<p>出産・育児等により離職せざるを得なかった女性の再就職準備や就労を支援するため、就職に関する情報の提供やスキルアップに向けた講座等を実施するとともに、管理職や起業を目指す女性などを対象に、キャリアアップに向けたセミナーや県内大学と連携した「ウーマンビジネススクール」を開催します。<商工></p>	推進				<p>出産・育児等により離職せざるを得なかった女性の再就職準備や就労を支援するため、就職に関する情報の提供やスキルアップに向けた講座等や、<u>管理職、起業を目指す女性などを対象に、キャリアアップに向けたセミナーや県内大学と連携した「ウーマンビジネススクール」をニューノーマルに対応した形式で開催します。</u> <商工></p>					<p>「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止を図りつつ、就労支援を行うため。</p>	商工
			<p>女性の再就職や就労を支援する講座等における就業率 (’17) 32% (’22) 60%以上</p>		45%	50%	55%	60%						
			<p>「ウーマンビジネススクール」の参加者数(累計) (’17) 20人 (’22) 70人</p>		40人	50人	60人	70人						

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

主要事業実施工程表（1-3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
58	1-3-1	87	「元氣なあわっ子憲章」のもと、子どもたちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、実践に取り組みることにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、地場産物を活用した学校給食の推進や、食に関する指導の充実のために、栄養教諭の配置を拡充し、徳島の産物や食文化への理解を深めるなど、徳島ならではの魅力ある食育を推進します。<教育>	推進				「元氣なあわっ子憲章」のもと、子どもたちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、 タブレット端末を活用した実践 に取り組みることにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、地場産物を活用した学校給食の推進や、食に関する指導の充実のために、栄養教諭の配置を拡充し、徳島の産物や食文化への理解を深めるなど、徳島ならではの魅力ある食育を推進します。<教育>					タブレット等の端末が一人一台導入されるのに伴い、タブレット等の端末を有効活用した生活習慣改善への取組みを実施する。	教育
			肥満傾向の児童生徒数（小中学校） ('17) 4,979人 ('22) 2017年度比6%減	1.5%減	3%減	4.5%減	6%減							
			学校給食に地場産物を活用する割合 ('17) 35% ('22) 35%	35%	35%	35%	35%							
			小中学校への栄養教諭の配置人数 ('17) 57人 ('22) 64人	61人	62人	63人	64人							
68	1-3-2	89	高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるようにするため、生きがいづくり及び活動の場づくりを支援するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成します。<未来>	推進				高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるようにするため、 新たに「アクティブシニア地域活動支援センター」を開設し 、生きがいづくり及び活動の場づくりを支援するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成します。<未来>					アクティブシニアが活躍する生涯現役社会を実現するため、令和2年度に新たに「アクティブシニア地域活動支援センター」を開設し、地域貢献活動の担い手育成と活躍の場の創出を図る。	未来
			生きがいづくり推進員の活動延べ人数 ('17) 2,084人 ('22) 2,700人	2,000人	2,500人	2,600人	2,700人							
			シルバー大専大大学院における資格取得者数 (累計) ('17) 1,363人 ('22) 1,860人	1,560人	1,660人	1,760人	1,860人							
71	1-3-3	89	質の高い介護サービスを適正に提供するため、十分な研修の機会を確保することにより、介護サービス従事者の育成・確保や専門性の向上を推進します。<保健>	推進									主任介護支援専門員の資質向上のため、県が実施するフォローアップ研修のほか、各地域包括支援センターにおいても研修を実施している。県のフォローアップ研修がより専門性を重視したものであるのに対し、各地域包括支援センターの研修は地域の専門職との連携促進も目的とした内容となっており、それぞれに特性を活かした研修を実施している。 今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域包括支援センターが主催する研修の機会が例年に比べ減少していることから、県のフォローアップ研修に一部オンラインを取り入れ、定員数を増やし、研修機会を多く提供する予定としている。 次年度以降は、それぞれにおいて例年規模の研修を実施することを前提としつつ、新型コロナの感染の状況と地域包括支援センターの実施状況を踏まえながら、必要に応じてフォローアップ研修の規模を確保することとする。	保健
			介護に関する入門的研修全課程(2課程) 修了者数(累計) ('17) - ('22) 300人	120人	180人	240人	300人							
			主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数 (累計) ('17) 39人 ('22) 240人	120人	160人	200人	240人	主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数 (累計) ('17) 39人 ('22) 300人	120人	160人	260人	300人		

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

主要事業実施工程表（1-4 県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進）

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
91	1-4-3	93	多様な外国人材が集う徳島の実現のため、県内在住や定住を希望する外国人に対する、就労支援、労働相談窓口の設置等、きめ細かな支援体制の整備を図ります。 また、大学等の高等教育機関、産業界、県が一体となって外国人留学生の受入れ拡大を図るとともに、留学生等を対象とした企業説明会・マッチングフェアを開催するなど、県内定着支援の強化を図ります。＜政策・商工＞	充実・ 実施				多様な外国人材が集う徳島の実現のため、県内在住や定住を希望する外国人に対する、就労支援、労働相談窓口の設置等、きめ細かな支援体制の整備を図ります。 また、大学等の高等教育機関、産業界、県が一体となって外国人留学生の受入れ拡大を図るとともに、留学生等を対象とした企業説明会・マッチングフェアを「 ニューノーマルに対応した形式 」で開催するなど、県内定着支援の強化を図ります。＜政策・商工＞					「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止を図りつつ、県内定着支援を行うため。	政策・ 商工
			定住外国人の就労を支援する講座等における就業率 (’17) 24% * (’22) 40%以上 * 過去3年平均	28%	32%	36%	40%							
			すだちくんハロ・ワーク「外国人労働相談窓口」 の設置 (’20) 設置											
			県内大学等への留学生受入数 (’17) 399人 (’22) 500人	425人	450人	475人	500人							
97	1-4-3	94	多くの県民に県政を身近に感じ、親しみを持ってもらうとともに、県民からの意見・提言等を積極的に県政に反映させるため、県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」の活用や、AIを活用した多言語対応の全庁的なFAQ システムの開設により、県政情報の効果的な発信などに取り組みます。＜監察＞	推進									「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」に名称が確定したため。	監察
			県庁舎見学参加者数 (’17) 617名 (’19) ~ (’22) 年間680名以上	680名	680名	680名	680名							
			県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」 展示等件数 (’17) 40件 (’19) ~ (’22) 年間50件以上	50件	50件	50件	50件							
			「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ(仮称)」の 開設 (’20) 開設					「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」の 開設 (’20) 開設						

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

主要事業実施工程表（1-5 次代へつなく！少子化対策の推進）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
130	1-5-3	101	児童相談所職員の専門的技術を高めるため、特に重要なスキルである家族面接技術、ケースマネジメント技術等に特化した研修を行うとともに、児童虐待予防のための保護者支援の取組みを強化します。<未来>	推進									令和2年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目指し、専門研修の研修受講者数(累計)の数値目標について上方修正する。	未来
			研修受講者数(累計) ('17) 37人 ('22) 180人	90人	120人	150人	180人	研修受講者数(累計) ('17) 37人 ('22) 250人	90人	120人	220人	250人		
			保護者支援講座等の実施回数 ('17) 2回 ('19) ~ ('22) 年間15回	15回	15回	15回	15回							
133	1-5-3	101	様々な困難を抱える子ども・若者やその家族を支援するため、地域における支援者を養成し、関係機関相互の連携を促進します。<未来>	推進				様々な困難を抱える子ども・若者やその家族を支援するため、 <u>相談機能を充実させるとともに</u> 、地域における支援者を養成し、関係機関相互の連携を促進します。<未来>					子どもや若者の幅広い分野にまたがる問題に対応するため、現在整備中の「女性活躍ワンストップセンター(仮称)」に、適切な相談機関の紹介、その他の必要な情報の提供・助言を行う「子ども・若者相談窓口」を設置することにより、相談体制を強化する。	未来
			地域協議会及び支援者養成講習参加者数 ('17) 211人 ('19) ~ ('22) 250人	250人	250人	250人	250人							

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

主要事業実施工程表（2-1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進）

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局				
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)						
新規	2-1-1	104						●リタイアインフラを活用して、災害時には全国からの支援物資の中継地点となる「広域物資輸送拠点」として、平時には県民の利便性向上や地方創生に繋がる施設の整備を推進します。<危機> ○「広域防災拠点施設等」の整備 (‘21)整備・(‘22)供用		推進			徳島新聞社から譲渡を受けた「旧印刷センター」について、災害時の防災拠点機能に加え、平時の利用を考慮した施設として改修を行うため。	危機				
160	2-1-2	108	●県消防操法大会において、実践に即した水出し操法を実施するなど、市町村と連携して、県下の消防団員の技術力、迅速・的確な行動、規律、士気の向上を図ります。<危機> ○消防操法大会の実施（隔年） (‘20) (‘22) 実施	推進				○消防操法大会の実施（隔年） (‘21) (‘23) 実施					「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止の観点から、主催者において大会の延期が決定された。	危機				
161	2-1-2	108	●女性消防団員の活動の活性化を図るため、広報・研修を実施するとともに、「全国女性消防団員活性化徳島大会」を誘致するなど、消防団活動における女性の活躍推進を図ります。<危機> ○全国大会の開催 (‘20) 開催	誘致	開催	推進		○全国大会の開催 (‘21) 開催					「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止の観点から、主催者において大会の延期が決定された。	危機				
165	2-1-2	108	●「防災・健康」のリバシブルな役割を担う西部健康防災公園を「広域防災・後方支援の拠点」とするため、関係機関と連携した図上訓練や、西部防災館における地域住民を対象とした防災や健康に関する講座を開催するなど、公園の利活用拡大を図ります。<西部> ○「防災」及び「健康増進」講座の実施回数（再掲） (‘17) →(‘19) ～(‘22) 年間45回以上 ○西部健康防災公園を活用した物流・広域支援の現地訓練の実施回数 (‘17) →(‘19) ～(‘22) 年間1回以上	推進				○西部健康防災公園を活用した物流・広域支援の現地訓練の実施回数 (‘17) →(‘19) ～(‘20) 年間1回以上 (‘21) ～(‘22) 年間2回以上			1回	1回	2回	2回	これまで実施してきた陸上自衛隊等の現地訓練(南海レスキュー、漕舟訓練)等の調整や支援に加え、新たな課題に対応した訓練にも取り組むため、上方修正する。	西部		
新規	2-1-4	111						●「大規模災害」と「新型コロナ」の複合災害に備えるため、サブ避難所の確保やホテル・旅館の活用等「分散避難」を推進するとともに、避難所・福祉避難所の3密を回避するため、段ボールベッドやパーティション等の資機材を整備するなど、市町村と連携し、避難所における感染症対策を推進します。<危機・保福> ○サブ避難所の確保に着手した市町村数 (‘17) →(‘21) 19市町村					推進			19市町村	県政運営評価戦略会議において、「災害対策に『新しい生活様式』を踏まえた対応策を取り入れる」とのご提言をいただいております。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、大規模災害が発生した場合、避難所でのクラスターによる爆発的な感染拡大を防ぐため、避難所における感染防止対策を推進する。	危機

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

主要事業実施工程表(2-1 未知なる災害を迎え撃つ! 「事前復興」の推進)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
185	2-1-5	111	地域防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立・分散型電源」導入支援制度を創設します。<危機>	推進											危機
			「自立・分散型電源」導入支援制度の創設('19)創設												
新規								「自立・分散型電源」導入支援制度の取組支援数 (累計) ('17) - ('22) 15件			10件	15件			
186	2-1-5	111	地球温暖化対策や平時における電力の地産地消の推進、さらには災害時の非常電源として活用が期待できる水力発電の普及を図るため、溪流に設置可能なピコ水力発電機の実証実験や、先導的モデルとなる小水力発電所の整備に取り組みます。 これらの取組みや実験データを公表することによって、自然エネルギーの普及促進を図ります。<企業>	推進				地球温暖化対策や平時における電力の地産地消の推進、さらには災害時の非常電源として活用が期待できる水力発電の普及を図るため、溪流に設置可能なピコ水力発電機の実証実験や、産学官の連携等により、先導的モデルとなる小水力発電の導入支援に積極的に取り組みます。 これらの取組みや実験データを公表することによって、自然エネルギーの普及促進を図ります。<企業>	推進						企業
			自立・分散型エネルギーの普及拡大('19)～('22)小水力発電所の整備・運用					自立・分散型エネルギーの普及拡大('20)～('22)小水力発電の導入支援							
			自然エネルギー地産地消モデルの普及促進('19)～('21)ピコ水力発電機の実証実験(2箇所)・('22)説明会の実施												
			自然エネルギー導入促進のための技術支援('19)～('22)相談窓口による支援												

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

主要事業実施工程表(2-2 国土強靱化を牽引! 「災害列島」から「安全安心列島」へ)

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
204	2-2-2	115	近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道(徳島JCT~阿南間)の整備を促進します。<県土>	促進										インターチェンジの正式な名称が決定したため、修正する。	県土
			四国横断自動車道(徳島JCT~徳島東間)の整備 (17) 工事促進中 (21) 供用					四国横断自動車道(徳島JCT~徳島沖洲間)の整備 (17) 工事促進中 (21) 供用							
			四国横断自動車道(徳島東~阿南間)の整備 (17) 工事施工中 (22) 工事促進中 (20) 部分供用 徳島東~津田間)					四国横断自動車道(徳島沖洲~阿南間)の整備 (17) 工事施工中 (22) 工事促進中 (20) 部分供用 徳島沖洲~徳島津田間)							
205	2-2-2	115	高速道路ネットワークの機能強化を図るため、津田地区及び立江・檜洲地区への追加IC、阿南IC追加ランプを設置するとともに、徳島自動車道における暫定二車線区間の4車線化など、道路を賢く使う取組みを推進します。 <県土>	推進										徳島津田ICにおいて、南向きランプ(阿南方面)の連結許可をR2年10月に取得したため、新たな目標を追加する。	県土
			津田地区への追加IC設置 (17) 工事施工中 (20) 設置					津田地区への追加IC(北向きランプ)設置 (17) 工事施工中 (20) 設置							
新規								津田地区への追加IC(南向きランプ)設置 (17) - (22) 調査設計中							
			阿南ICへの追加ランプ設置 (17) 調査設計中 (22) 工事推進中												
			立江・檜洲地区への追加IC設置 (17) 調査設計中 (22) 工事推進中												
			徳島自動車道(阿波PA付近 延長7.5km)の 付加車線設置 (17) 工事促進中 (20) 供用												
			徳島自動車道(脇町IC~美馬IC 延長4.8km)の 付加車線設置 (17) - (19) 事業着手 (22) 工事促進中												
214	2-2-3	117	気候変動に伴う水害の頻発・激甚化に対して、住民の避難行動を促し、人的被害をなくすため、分かりやすい水位・映像情報の発信や洪水浸水想定区域・洪水タイムライン・ファミリータイムラインの周知を推進します。<県土>	推進										県政運営評価戦略会議にて採択された意見を踏まえ、「逃げ遅れ・ゼロ」実現に向け、「リアルタイムで切迫感」のある映像を提供する「河川監視カメラ」の整備について、新たに目標値を設定することとし、洪水による被害軽減の取組みを推進する。	県土
			危機管理型水位計の整備(累計) (17) - (20) 50箇所	30箇所	50箇所										
			洪水浸水想定区域図の作成 (17) - (19) 16河川	16河川											
			洪水タイムラインの作成 (17) 1河川 (19) 16河川	16河川											
			ファミリータイムラインの作成(累計) (17) - (22) 7地区	1地区	3地区	5地区	7地区								
新規								河川監視カメラの整備(累計) (17) - (22) 28箇所				18箇所	28箇所		

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

主要事業実施工程表（2-2 国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ）

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
225	2-2-4	119	道路・河川施設をはじめとする社会インフラの老朽化に備え、必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため、長寿命化計画に基づく老朽化対策を推進します。<農林・県土>	推進									令和2年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目指し、老朽化対策に着手した施設数の目標数値について上方修正する。	農林・ 県土
			老朽化対策に着手した施設数（橋梁、トンネル、排水機場、都市公園、港湾施設、漁港施設等） （累計） ('17) 384施設 ('22) 495施設	411施設	452施設	473施設	495施設	老朽化対策に着手した施設数（橋梁、トンネル、排水機場、都市公園、港湾施設、漁港施設等） （累計） ('17) 384施設 ('22) <u>511</u> 施設	411施設	452施設	<u>484</u> 施設	<u>511</u> 施設		

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

主要事業実施工程表(2-3「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
24201	2-3-1	123	医療の質の向上や、患者及び医師の負担軽減を図るため、5Gを活用した県立病院間の遠隔診療・遠隔診断を実施します。<病院>		推進								県立3病院において、「5G」通信基盤を整備し、令和3年度以降、病院間の遠隔医療に取り組む予定であるため。	病院
			5Gを活用した遠隔医療の推進 (17) - (20) 中央病院・海部病院間で実施・推進					5Gを活用した遠隔医療の推進 (17) - (20) 中央病院・海部病院間で実施・推進 (21) 県立3病院間で実施・推進						
新規	2-3-3	123						感染拡大防止を図るため、県民への迅速かつ的確な情報提供や、相談体制を充実させるとともに、検体採取機関の拡充や検査能力の強化を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を推進します。 <保健>	推進				新たな感染症である「新型コロナウイルス感染症」に対応し、県民の安心安全につながる相談体制や検査体制の充実を図る必要があるため。	保健

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

主要事業実施工程表（2-4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
257	2-4-2	126	「徳島県自殺対策基本計画」に基づき、行政及び民間団体における相談機能の強化・連携体制の充実や、「徳島県自殺予防サポーター」(ゲートキーパー、傾聴ボランティアなど自殺予防、傾聴の研修受講者)の更なる養成に努めるなど、県民総ぐるみで地域における自殺対策の推進を図ります。 <保健>	推進				「徳島県自殺対策基本計画」に基づき、行政及び民間団体における相談機能の強化・連携体制の充実や、「徳島県自殺予防サポーター」(ゲートキーパー、傾聴ボランティアなど自殺予防、傾聴の研修受講者)の更なる養成に努めるとともに、 自殺統計データやICTを活用し、地域の特性に応じた具体的な取組を強化 するなど、県民総ぐるみで地域における自殺対策の推進を図ります。 <保健>	推進					「自殺対策総合大綱」において、自殺死亡率の数値目標をR8までにH27と比べて30%以上減少させ、「13.0以下」とすることが示されているが、徳島県はH30に全国平均値よりも低い数値(12.0)となっている状況を踏まえ、数値目標をR5の計画見直しまで「13.0以下」を維持することを目標としており、目標達成に向け取組の充実・強化を図ることとする。 数値目標達成のために、「徳島県自殺対策基本計画」に基づいた取組を継続すると共に、自殺統計データを活用し、増加傾向にある対象や原因・動機への集中的な取組強化や、ICTを活用した相談機能の拡充などにより、自殺対策の更なる推進を図る。	保健
			自殺死亡率(人口10万人当たり自殺者数) (17) 16.4 (22) 13.0以下	13.0以下	13.0以下	13.0以下	13.0以下								
			自殺予防サポーター数(累計) (17) 32,750人 (22) 53,000人	41千人	45千人	49千人	53千人								
259	2-4-2	126	地域における生活保護受給者等の自立を促進するため、生活保護受給者等就労自立促進事業等を展開するとともに、自立相談支援機関等に「アウトリーチ支援員(仮称)」や「企業開拓員(仮称)」を配置し、相談支援体制の充実を図り、関係機関連携の下、生活保護になる前の段階において、生活困窮者の就労自立等を促進します。 <保健>	推進										新型コロナウイルス感染症の影響による離職等により、生活保護申請の増加が見込まれている。 この方たちは、申請前は働いており、働くことができる者がいる世帯として整理されることから、「その他世帯」の割合が高まることも想定される。 一方、生活保護になる前の段階で支援を行う、生活困窮者自立支援事業においては、相談が増加することが考えられる。 このことから、生活保護になる前に支援を行い、早期に自立を促すことは重要との考えの下、自立相談支援機関における対象者に係る「自立支援プランの策定」を新しく目標として支援を実施していく。	保健
			生活保護世帯のうち働くことのできる 「その他世帯率」 (17) 9.3% (22) 8.5%	8.9%	8.8%	8.7%	8.5%								
新規								生活困窮者自立相談支援機関における 「支援プラン策定件数」 (17) 62件 (22) 90件				80件	90件		
267	2-4-4	128	経済のグローバル化に柔軟かつ適切に対応し、本県畜産業の持続的発展を図るため、国内外から評価される安全安心な本県畜産物の輸出促進に向け、農場HACCP、JGAP 家畜・畜産物等の認証取得を推進します。 <農林>	推進				畜産GAP・農場HACCP認証等取得件数(累計) (17) 6件 (22) 15件						畜産GAP認証等の国際認証取得を推進し、安全・安心で高品質な県産畜産物の輸出拡大を図るため、数値目標を上方修正する。	農林
			農場HACCP認証等取得件数(累計) (17) 6件 (22) 14件	11件	12件	13件	14件		11件	12件	14件	15件			
			とくしま三ツ星ビーフ 認定生産者件数(累計) (17) - (22) 5件	2件	3件	4件	5件								
273	2-4-4	129	食品関係事業者の食品表示責任者等に表示関連法令の啓発指導を行い、事業所における食品表示リーダーの養成を推進します。 <危機>	推進				食品表示責任者講習会受講済数 (17) 1,952人 (22) 3,100人						令和2年度の実績見込みが令和4年度の目標数値を上回ることから数値目標を上方修正する。	危機
			食品表示責任者等講習会受講済数(累計) (17) 1,952人 (22) 2,600人	2,300人	2,400人	2,500人	2,600人		2,300人	2,400人	2,900人	3,100人			
276	2-4-5	129	県民の防犯意識の高揚を図り、地域の犯罪抑止機能を強化するため、街頭犯罪等の発生状況や不審者情報の提供及び地域の犯罪情勢に即した効果的な抑止対策とともに、特殊詐欺の撲滅に向けた取組を推進します。 <警察>	推進				県民の防犯意識の高揚を図り、地域の犯罪抑止機能を強化するため、街頭犯罪等の発生状況や不審者情報の提供及び地域の犯罪情勢に即した効果的な抑止対策とともに、特殊詐欺の撲滅に向け、 幅広い年齢層に対する 取組を推進します。 <警察>						特殊詐欺については、高齢者のみならず、幅広い年齢層で被害が発生していることから、撲滅に向け、幅広い年齢層に対する取組を行う。	警察
			街頭犯罪発生件数(暦年) (17) 1,141件 (22) 2017年対比で抑止(減少)												
			特殊詐欺の被害額件数(暦年) (17) 63件 (22) 2017年対比で抑止(減少)												

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表(3-1 全国を先導！第4次産業革命の実装)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
29402	3-1-1	136	医療の質の向上や、患者及び医師の負担軽減を図るため、5Gを活用した県立病院間の遠隔診療・遠隔診断を実施します。(再掲)<病院>		推進								県立3病院において、「5G」通信基盤を整備し、令和3年度以降、病院間の遠隔医療に取り組む予定であるため。	病院
			5Gを活用した遠隔医療の推進 (17) - (20) 中央病院・海部病院間で実施・推進					5Gを活用した遠隔医療の推進 (17) - (20) 中央病院・海部病院間で実施・推進 (21) 県立3病院間で実施・推進						
295	3-1-1	136	Society5.0を支える社会インフラとなる「マイナンバーカード」の利便性を広く県民に周知するとともに、「自治体ポイント」を県下全域に広め、利用可能店舗やサービスの拡充を図ります。<政策>	推進				Society5.0を支える社会インフラとなる「マイナンバーカード」の取得を促進するため、健康保険証利用のメリットはじめ、利便性を広く県民に周知するとともに、「自治体ポイント」を県下全域に広め、利用可能店舗やサービスの拡充を図ります。<政策>					デジタル社会のパスポートであるマイナンバーカードについては、国において、令和4年度未だにほぼ全国民に行き渡ることを目指すとされている。このため、県としては、高齢者や障がい者等がデジタル化の波に取り残されることがないように、カードの取得を支援し、利便性の高いデジタル社会の実現に向けて取り組む。 また、令和3年3月から開始予定のマイナンバーカードの健康保険証利用については、被保険者・医療機関双方にとってメリットがあることから、そのメリットの周知を行うことにより、マイナンバーカードの取得促進につなげる。	政策
			マイナンバーカード交付率(累計) (17) 8.8% (22) 50%	20%	40%	45%	50%	マイナンバーカード交付率(累計) (17) 8.8% (22) 100%	20%	40%	70%	100%		
300	3-1-1	137	中小企業において常態化しつつある深刻な人手不足の解消や第4次産業革命への対応に向け、生産性向上につながる設備等の導入を支援するため、中小企業向け融資制度において「生産性革命応援資金」を創設し、資金調達の円滑化を図ります。<商工>	推進				中小企業において常態化しつつある深刻な人手不足の解消や第4次産業革命への対応に向け、生産性向上につながる設備等の導入やDX(デジタル・トランスフォーメーション)の取り組みを支援するため、中小企業向け融資制度において「生産性革命応援資金」を創設し、資金調達の円滑化を図ります。<商工>					新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた中小企業が、WITH・コロナ/アフター・コロナ時代を見据え、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の取り組みを進める必要がある。	商工
			「生産性革命応援資金」の創設 (19) 創設											
312	3-1-2	139	実践的なICT人材の育成や地場ICT産業の持続的な発展、徳島を拠点としたワーキングスタイルの確立につなげるため、県内最大のデジタルコンテンツ表彰を行う「ICT(愛して)とくしま大賞」や徳島の強みを活かした効果的なICTイベントを実施します。<政策>	推進				実践的なデジタル人材の育成や地場産業の持続的な発展、徳島を拠点としたワーキングスタイルの確立に向け、徳島ならではのDXを生み出す土壌を醸成するため、県内最大のデジタルコンテンツ表彰を行う「デジタルとくしま大賞(仮称)」や徳島の強みを活かした効果的なデジタル関連イベントを実施します。<政策>					誰もがデジタル化の恩恵を享受できる真のデジタル社会を実現するためには、ツールとしてのICTの利活用だけではなく、社会全体の最適化や新たな価値の創造をもたらすDX(デジタル・トランスフォーメーション)を強く推進していく必要があることから、従来の取組みの見直しを行う。 また、これまでの実績を踏まえ、数値目標を上方修正する。	政策
			ICTとくしま大賞応募作品の利活用件数(累計) (17) 45件 - (22) 135件	75件	95件	115件	135件	ICTとくしま大賞及びデジタルとくしま大賞(仮称)応募作品の利活用件数(累計) (17) 45件 - (22) 160件	75件	95件	140件	160件		

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表（3-1 全国を先導！第4次産業革命の実装）

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
313	3-1-3	140	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの県民に県政を身近に感じ、親しみを持ってもらうとともに、県民からの意見・提言等を積極的に県政に反映させるため、県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」の活用や、AIを活用した多言語対応の全庁的なFAQシステムの開設により、県政情報の効果的な発信などに取り組みます。(再掲) <監察> 	推進											「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」に名称が確定したため。	監察
			○県庁舎見学参加者数 (’17) 617名→(’19) ~ (’22) 年間680名以上	680名	680名	680名	680名									
			○県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」 展示等件数 (’17) 40件→(’19) ~ (’22) 年間50件以上	50件	50件	50件	50件									
			○「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ(仮称)」の 開設 (’20) 開設					○「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」の 開設 (’20) 開設								
314	3-1-3	140	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請・届出等の行政手続きの簡素化やオンライン対応、AI・RPA等の革新技術の活用を進めることにより、業務の効率化とともに、県民の利便性の向上を図ります。また、公文書の電子決裁化を進めることで、文書管理の適正化と行政運営の効率化を目指します。 <経営・出納> 	推進				<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル社会実現に向けた取組を強力に推進するため、「アクションプラン」を策定し、申請・届出等の行政手続きの簡素化やオンライン対応、公文書の電子化、AI・RPA等の革新技術の活用などを推進することにより、行政システムを革新し、県民の利便性向上を図ります。また、公文書の電子決裁化を進めることで、文書管理の適正化と行政運営の効率化を目指します。 <経営・出納> 							今般の新型コロナウイルス感染症の拡大は、感染症対策の実施を通じて、各種給付金の受給申請手続・支給作業の一部に遅れや混乱が生じるなど、特に行政分野におけるデジタル化・オンライン化の遅れが明らかとなった。そこで、これまで本県のICT施策を推進してきた「ICT推進本部」を改組し「デジタル社会推進本部」を設置、「アクションプラン」の策定・推進を行うことにより、行政分野のデジタル化・オンライン化などデジタル社会実現に向けた取組をより強力に推進する。 また、電子申請利用件数は、利用の推進を図ってきたことにより利用件数が増えたこと、更なる利用数の増加を目指し目標数を上方修正する。	経営・ 出納
			○電子申請利用件数 (’17) 9,317件→(’22) 14,000件	11,000 件	12,000 件	13,000 件	14,000 件	○電子申請利用件数 (’17) 9,317件→(’22) 22,000件	11,000 件	12,000 件	20,000 件	22,000 件				
			○電子決裁システムの利用促進 利用率 (’17) 84%→(’22) 100%				100%									
			○定型業務にRPAを適用 (’19) RPA本格実装・(’20) RPA適用業務の拡充													

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表（3-2 千載一遇！攻めのインバウンド誘客）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
333	3-2-2	144	国内外からの観光誘客を図り、地域の活性化に繋げるため、県内に架かる橋をPRする「橋の博物館とくしま」のホームページや橋梁史の英語版を作成し、橋の魅力を広く発信します。<県土>	推進				国内外からの観光誘客を図り、地域の活性化に繋げるため、県内に架かる橋をPRする「橋の博物館とくしま」のホームページの 充実 や橋梁史などを記載した「 ブリッジカード 」の英語版を作成するとともに、地域の景観や文化を感じながら自転車 で橋を巡る「 ブリッジサイクルツーリズム 」を通して、橋の魅力を広く発信します。<県土>					9月議会での議論を踏まえ、「アフターコロナ時代」にも合う目標を具体的に記載するとともに、「新たな生活様式」を踏まえた自転車を活用する目標を追加する。	県土	
334	3-2-3	145	夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定着、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの通年活用に取り組むとともに、本場徳島をPRする「世界阿波おどりサミット」の開催を契機とし、世界の「阿波おどり連」との連携強化を図り、世界に発信することにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。(再掲)<商工>	推進				夏の阿波おどりはもとより、春、秋の「阿波おどり」の更なる充実や、冬の「阿波おどり」の定着、有名連の練習風景の観光資源化など、阿波おどりの通年活用に取り組むとともに、 ニューノーマルに対応した新たな阿波おどりを実装 し、本場徳島をPRする「世界阿波おどりサミット」の開催を契機に、世界の「阿波おどり連」との連携強化を図り、 オンライン等を活用した魅力発信を行う ことにより、「徳島ファン」の拡大を図り、国内外から本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。(再掲)<商工>					感染予防対策を徹底した安全安心の阿波おどりイベントを開催する必要があるとともに、海外との往来が困難な状況であるため、オンラインによる情報発信を含めることとした。	商工	
			「世界阿波おどりサミット」の開催 (19) 開催												
335	3-2-3	145	国内外から注目を集める「マチ アソビ」を核としたアニメイベントを開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。(再掲)<商工>	開催				国内外から注目を集める「マチ アソビ」を核としたアニメイベントを、 参加者全員が安心して楽しめるニューノーマルに対応した形 で開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。<商工>					「マチ アソビ」の灯を消すことのないよう、参加者全員の安全・安心に配慮したアニメイベントを開催することにより、アフターコロナ後の徳島市中心市街地の活性化や観光交流の促進に繋げる必要があるため。	商工	
337	3-2-3	145	県内のスポーツ振興や、県民の健康増進を図るため、障がいを持つ方も参加できる関連イベントの開催など、参加者の満足度の高い、「おもてなしの心」あふれる「とくしまマラソン」を開催します。<商工>	開催				県内のスポーツ振興や、県民の健康増進を図るため、 スタッフやボランティアなどを含めた参加者全員の安心・安全に配慮しつつ 、ランナー以外の方も参加できる関連イベントを実施するなど、参加者の満足度の高い、「おもてなしの心」あふれる「とくしまマラソン」を開催します。<商工>					コロナ禍において、ランナーはもとより、スタッフやボランティアなど大会に関わる方の安全・安心に配慮した、新しい様式のマラソン大会の運営が求められるため。	商工	
			ランナー満足度 (17) 76.8点 (22) 85.0点	80.5点	82.0点	83.5点	85.0点								
338	3-2-3	145	「ナイトタイムエコノミー」の活性化を図るため、「ナイトイベント」を誘致し、宿泊者数及び夜間の観光消費額の増加を図ります。 また、ナイトイベントの開催場所として県有施設の活用を図ります。<商工>	促進				「ナイトタイムエコノミー」の活性化を図るため、 ニューノーマルに対応した「ナイトイベント」の開催を支援 し、宿泊者数及び夜間の観光消費額の増加を図ります。 また、ナイトイベントの開催場所として県有施設の活用を図ります。<商工>					コロナ禍において、イベント実施に際し、感染症対策を徹底する必要があるため。	商工	
339	3-2-3	145	「渦の道」、「あすたむらんど徳島」、「美馬野外交流の郷」などの交流拠点の魅力を高めるとともに、交流拠点を活用したイベントの充実を図り、また、来場者へのアンケートを実施し、意見を踏まえた取組みやサービスを提供することで満足度の向上を図ります。<商工>	推進				「渦の道」、「あすたむらんど徳島」、「美馬野外交流の郷」などにおいて、 感染症対策を徹底し、安心して楽しめる交流拠点の魅力を発信し、ニューノーマルに対応したイベントの充実 に努めるとともに、来場者へのアンケートを実施し、意見を踏まえた取組みやサービスを提供することで満足度の向上を図ります。<商工>					コロナ禍においては、施設運営やイベント実施に際し、感染症対策を徹底する必要があるため。	商工	
			「渦の道」、「あすたむらんど徳島」及び 「美馬野外交流の郷」の満足度数 (17) 70% (22) 80%	74%	76%	78%	80%								

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表（3-3 世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
351	3-3-2	148	主食用米を中心とする水稲経営の安定化及び生産者の経営判断に基づく需要に応じた米づくりを実現するため、多収品種の導入による低コスト化、「あきさかり」をはじめ高温耐性品種の普及による高品質化、輸出用米や飼料用米など新規需要米の導入を推進します。<農林>	推進											農林	
			水稲の多収品種の作付面積 (’17) 780ha (’22) 2,830ha	1,780ha	2,130ha	2,480ha	2,830ha									県産米の輸出については、海外販路開拓の支援や輸出用米の作付推進に取り組んできた結果、輸出実績が目標数値を上回るペースで拡大することが見込まれることから、目標数値を上方修正する。
			高温耐性品種の作付面積 (’17) 474ha (’22) 2,550ha	1,500ha	1,850ha	2,200ha	2,550ha									
			県産米輸出数量 (’17) 79トン (’22) 92トン	83トン	86トン	89トン	92トン	県産米輸出数量 (’17) 79トン (’22) 200トン	83トン	86トン	180トン	200トン				
355	3-3-2	149	県西部圏域（にし阿波）が、日本農業の原点である「世界農業遺産」や「食と農の景勝地」に認定されたことを契機に、持続力のある地域経済を実現するため、国内外への情報発信、伝統食材を活用した「もうかる農業」への取組み、農泊の活性化及び次世代への継承を推進します。 (再掲) <西部>	推進											西部	
			「世界農業遺産ブランド」認証件数(累計) (’17) - (’22) 50件	20件	40件	45件	50件	「世界農業遺産ブランド」認証件数(累計) (’17) - (’22) 80件	20件	40件	75件	80件				
			とくしま農林漁家民宿の宿泊者数(西部圏域) (’17) 2,265人 (’22) 2,800人	2,500人	2,600人	2,700人	2,800人									
			「世界農業遺産」戦略品目であるそば販売作付面積(累計) (’17) 28.7ha (’22) 33ha	30ha	31ha	32ha	33ha									
			「世界農業遺産」戦略品目であるごうしゅいもを栽培する農林漁家民宿等の数(累計) (’17) 25戸 (’22) 50戸	35戸	40戸	45戸	50戸									
			世界農業遺産フォーラム等の開催回数(累計) (’17) - (’22) 3回		1回	2回	3回									
			にし阿波新規就農サポートチーム(仮称)の創設 (’17) - (’20)創設					「にし阿波就農・移住応援隊」の創設 (’17) - (’20)創設								

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表（3-3 世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
366	3-3-3	151	畜産物について、TPP11や日EU・EPA発効によるグローバル化に対応するため、GAP・HACCPの認証取得支援による輸出促進などの「攻め」、経営安定対策などの「守り」に関する取組みを展開し、阿波尾鶏をはじめとした本県畜産ブランドの生産促進、競争力強化を推進します。 <農林>	推進				畜産物について、TPP11や日EU・EPA発効等によるグローバル化に対応するため、GAP・HACCPの認証取得支援による輸出促進などの「攻め」、経営安定対策、 生産基盤強化 などの「守り」に関する取組みを展開し、阿波尾鶏をはじめとした本県畜産ブランドの生産促進、競争力強化を推進します。 <農林>					令和3年度に、県内唯一の乳業工場の移転整備により、牛乳・乳製品の生産基盤が強化されることに併せて、県産生乳の集約化による輸送コストの削減等による酪農業振興を図るため、生乳集約化に関する数値目標を新たに設定する。	農林
			「阿波尾鶏」出荷羽数(地鶏肉)全国順位 (17)全国1位(20年連続) (22)全国1位(25年連続)	1位	1位	1位	1位							
			牛・豚経営安定対策加入率 (17)84% (22)89%	87%	87%	88%	89%							
			畜産物の海外輸出量 (17)54t (22)120t	90t	108t	115t	120t							
新規								県内乳業工場に仕向けられる生乳割合 (17)- (22)4.0%			37%	40%		
			県有和牛雄牛を用いた人工授精頭数(累計) (17)- (22)330頭	30頭	130頭	230頭	330頭							
377	3-3-4	153	経済のグローバル化に柔軟かつ適切に対応し、本県畜産業の持続的発展を図るため、国内外から評価される安全安心な本県畜産物の輸出促進に向け、農場HACCP、JGAP家畜・畜産物等の認証取得を推進します。 (再掲)<農林>	推進				畜産GAP・農場HACCP認証等取得件数(累計) (17)6件 (22) 15件	11件	12件	14件	15件	畜産GAP認証等の国際認証取得を推進し、安全・安心で高品質な県産畜産物の輸出拡大を図るため、数値目標を上方修正する。	農林
			農場HACCP認証等取得件数(累計) (17)6件 (22)14件	11件	12件	13件	14件							
			とくしま三ツ星ビーフ認定生産者件数(累計) (17)- (22)5件	2件	3件	4件	5件							

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表(3-4 世界スタンダード!徳島未来教育の創造)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
408	3-4-3	159	すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に児童生徒の学力向上を図るとともに、各学校の取組みを情報発信します。<教育>	全国平均正答率以上				すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に児童生徒の学力向上を図るとともに、各学校の取組みを情報発信します。また、ICTを十分に活用した授業改善を行い、個別最適化された学びを実現します。<教育>					タブレット等の端末が一人一台導入されるのに伴い、タブレット等の端末を有効活用して、児童生徒の資質・能力を伸ばしていく。端末利用の長所を見極めた授業展開や児童生徒の個々の状況に応じた学習を推進し、学力向上につなげる。	教育
			「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率(19)～(22)調査で対象となっている国語・算数(数学)で全国平均正答率以上											
413	3-4-4	160	児童生徒の実態把握をもとに、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、児童生徒の体力向上を図ります。また、「元気なあわっ子憲章」のもと、子どもたちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、実践に取り組むことにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、朝食摂取や生活習慣病予防など、発達段階に応じた望ましい食習慣の形成に向けた取組みとともに、飲酒・喫煙・薬物乱用に対する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができる子どもの育成を目指します。<教育>	推進				児童生徒の実態把握をもとに、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、児童生徒の体力向上を図ります。また、「元気なあわっ子憲章」のもと、子どもたちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、タブレット端末を活用した実践に取り組むことにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、朝食摂取や生活習慣病予防など、発達段階に応じた望ましい食習慣の形成に向けた取組みとともに、飲酒・喫煙・薬物乱用に対する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができる子どもの育成を目指します。<教育>					タブレット等の端末が一人一台導入されるのに伴い、タブレット等の端末を有効活用した生活習慣改善への取組みを実施する。	教育
			「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均を上回る種目数(17)11種目(19)～(22)毎年17種目	17種目	17種目	17種目	17種目							
			全ての公立学校児童生徒の学校保健情報を電子化(17)・(22)運用											
			肥満傾向の児童生徒数(小中学校)(再掲)(17)4,979人(22)2017年度比6%減	1.5%減	3%減	4.5%減	6%減							
			小中学校への栄養教諭の配置人数(再掲)(17)57人(22)64人	61人	62人	63人	64人							
			栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を半分以上の学年で実施する小・中学校の割合(17)100%(19)～(22)100%	100%	100%	100%	100%							
			薬物乱用防止教室を開催する中・高等学校の割合(17)100%(19)～(22)100%	100%	100%	100%	100%							

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

主要事業実施工程表（3-5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
435	3-5-1	164	中小企業の販路開拓を支援するため、企業への積極的な情報提供を行い、県内のみならず、関西広域やアジアをはじめとする海外市場での展示商談会での取引支援を通じて、ビジネスマッチングを図るとともに、下請取引の適正化にも取り組みます。＜商工＞	支援				中小企業の販路開拓を支援するため、企業への積極的な情報提供を行い、県内のみならず、関西広域やアジアをはじめとする海外市場での展示商談会や、WEBを活用した「 バーチャル商談会 」での取引支援を通じて、ビジネスマッチングを図るとともに、下請取引の適正化にも取り組みます。＜商工＞					新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外の展示会への出展見通しが立たない中、オンライン展示会等が増加している背景を踏まえ、文言を追加修正するもの。	商工
			取引成立額 ('17) 202百万円 ('19) ~ ('22) 年間220百万円	220 百万円	220 百万円	220 百万円	220 百万円							
437	3-5-1	164	県内中小企業者の資金繰りの円滑化を推進するため、民間金融機関等との適切な連携のもとで、低金利・低保証料の融資制度の充実・強化を図ります。＜商工＞	充実・ 強化				県内中小企業者の資金繰りの円滑化を推進するため、民間金融機関等との適切な連携のもとで、低金利・低保証料の融資制度の充実・強化を図ります。また、「 保証料ゼロ・3年間無利子・借換え可能 」な融資と連動した「 融資連動型給付金 」制度を創設し、 新型コロナウイルス感染症の影響により、甚大な影響を受けた県内企業の事業継続を強力に支援します。 ＜商工＞					「新型コロナウイルス感染症」により、売上高の大幅な減少等、甚大な影響を被っている県内事業者の資金繰りと再起に向けた取組みを支援するため。	商工
			低利・低保証料の融資制度の充実・強化											
443	3-5-1	165	Society5.0を支える社会インフラとなる「マイナンバーカード」の利便性を広く県民に周知するとともに、「自治体ポイント」を県下全域に広め、利用可能店舗やサービスの拡充を図ります。（再掲）＜政策＞	推進				Society5.0を支える社会インフラとなる「マイナンバーカード」の 取得を促進するため、健康保険証利用のメリットをはじめ 、利便性を広く県民に周知するとともに、「自治体ポイント」を県下全域に広め、利用可能店舗やサービスの拡充を図ります。（再掲）＜政策＞					デジタル社会のパスポートであるマイナンバーカードについては、国において、令和4年度末までにほぼ全国民に行き渡ることを目指すとされている。このため、県としては、高齢者や障がい者等がデジタル化の波に取り残されることがないよう、カードの取得を支援し、利便性の高いデジタル社会の実現に向けて取り組む。 また、令和3年3月から開始予定のマイナンバーカードの健康保険証利用については、被保険者・医療機関双方にとってメリットがあることから、そのメリットの周知を行うことにより、マイナンバーカードの取得促進につなげる。	政策
			マイナンバーカード交付率（累計） ('17) 8.8% ('22) 50%	20%	40%	45%	50%	マイナンバーカード交付率（累計） ('17) 8.8% ('22) 100%	20%	40%	70%	100%		

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

主要事業実施工程表(4-1 世界に誇る!「あわ文化」の創造と継承)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
465	4-1-2	171	国内外から注目を集める「マチ アソビ」を核としたアニメイベントを開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。(再掲)<商工>	開催				国内外から注目を集める「マチ アソビ」を核としたアニメイベントを、 <u>参加者全員が安心して楽しめるニューノーマルに対応した形</u> で開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。(再掲)<商工>					「マチ アソビ」の灯を消すことのないよう、参加者全員の安全・安心に配慮したアニメイベントを開催することにより、アフターコロナ後の徳島市中心市街地の活性化や観光交流の促進に繋げる必要があるため。	商工

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

主要事業実施工程表(4-2 世界へ飛躍!「スポーツ王国とくしま」新次元の進化)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
475	4-2-1	174	3大国際スポーツ大会のキャンプ地誘致や、県内での競技大会開催を積極的に推進し、生涯スポーツの機運醸成や県内選手の競技力向上はもとより、地域経済の活性化や国際交流の促進を図ります。<未来>	推進											
			「ラグビーワールドカップ2019」における事前チームキャンプ実施 (19)実施												
			「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数 (17) - (20) 6件		6件			「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数 (17) - (21) 6件			6件				
			「ワールドマスターズゲームズ2021関西」における県内での競技大会開催 (21)開催					「ワールドマスターズゲームズ2021関西」における県内での競技大会開催 (22)開催							
476	4-2-1	174	3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるよう、国内外からのスポーツ大会誘致や国際スポーツ交流を実施します。(再掲)<未来>	推進				3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるよう、「徳島県スポーツコミッション」を核とする国内外からのスポーツ大会・合宿誘致とともに、国際スポーツ交流を実施します。(再掲)<未来>							
			国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計) (17) - (22) 20件	5件	10件	15件	20件	国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計) (17) - (22) 40件	5件	10件	30件	40件			
482	4-2-2	175	本県の競技力向上を図るため、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」に努めるとともに、企業や大学等のスポーツ選手強化・育成事業への支援や、元オリンピック選手等による講習会やセミナーの開催等により、未来のトップアスリートの育成や県内選手の強化に取り組みます。<未来>	推進				本県の競技力向上を図るため、 団体競技の強化や「お家芸」の復活、優秀な選手・指導者の確保、接戦を勝ち抜くサポート体制の構築、本大会を想定した競技備品の整備など、抜本的な対策を戦略的かつ重点的に展開します。さらに、関係機関・団体により構成される「徳島県団体飛躍対策本部」を立ち上げ、当該本部を中心として、有効な対策をタイムリーに実施します。 <未来>							
			国民体育大会天皇杯順位 (17) 46位 (19) - (22) 毎年30位台	30位台	30位台	30位台	30位台								
			元オリンピック選手等によるジュニア選手の指導 (19) - (22) 実施												

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

主要事業実施工程表(4-2 世界へ飛躍!「スポーツ王国とくしま」新次元の進化)

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
483	4-2-2	175	2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、有力競技の集中強化やお家芸競技の創出に取り組み、国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。<教育>	推進				2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、有力競技の集中強化やお家芸競技の創出に取り組み、科学的なトレーニングを実施することにより国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で、中学校段階での指導者のスキルアップを図るなど指導体制強化に取り組みます。<教育>					競技力向上・選手育成に当たっては、「日々の食生活や栄養指導」及び「メンタル強化」なども含めた、科学的なトレーニングを実施する必要がある。 また、中学校における競技力の向上は、指導者の技量によるところが大きいので、指導者のスキルアップを図る必要がある。	教育
			全国高等学校総合体育大会等の入賞(団体・個人)数 (17)47団体・個人 (19)~(22)50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人							
			全国中学校体育大会等の入賞(団体・個人)数 (17)5団体・個人 (19)~(22)13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人							
			有力中学選手「高校生との合同練習会」の実施 (17) - (19)~(22) 「NEO徳島トップスポーツ校」で 100%実施	100%	100%	100%	100%							
487	4-2-3	176	大型国際スポーツ大会の開催を産地づくりのターニングポイントと位置付け、次世代につながる「安全安心なフードレガシー」を創出します。<農林>	推進									東京オリパラ延期に伴い、公式オリパラ関連イベントやホストタウン活動が停滞したため、これらの目標を1年延期する。	農林
			GAP認証取得「ステップアップフォーラム」の開催 (19)~(22)開催											
			農林水産省GAPガイドライン準拠以上の認定件数(累計) (17)35件 (22)70件	50件	60件	65件	70件							
			公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数(累計) (17) - (20)8品目	4品目	8品目			公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数(累計) (17) - (21)8品目	4品目	8品目	8品目			
			ホストタウン対象国メニュー開発数(累計) (17) - (20)8メニュー	4メニュー	8メニュー			ホストタウン対象国メニュー開発数(累計) (17) - (21)8メニュー	4メニュー	8メニュー	8メニュー			

ターゲット4 「運動とくしま・感動宝島」の実装

主要事業実施工程表（4-3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
488	4-3-1	177	3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるよう、国内外からのスポーツ大会誘致や国際スポーツ交流を実施します。また、誘致を見据え、鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）等の施設の充実を図り、受入環境を整えます。 (一部再掲) < 未来・県土・教育 >	推進				3大国際スポーツ大会におけるキャンプ地誘致や競技大会開催を通じて創造される「レガシー」を県民の誰もが実感できるよう、「 <u>徳島県スポーツコミッション</u> 」を核とする国内外からのスポーツ大会・合宿誘致とともに、国際スポーツ交流を実施します。また、誘致を見据え、鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）等の施設の充実を図り、受入環境を整えます。 (一部再掲) < 未来・県土・教育 >					国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、2020年度の実施を目指していた交流会は全て中止となったが、令和元年度実績が数値目標を上回ったこと、及び令和2年8月に徳島県スポーツコミッションを設立し、スポーツツーリズムの推進体制を強化したことから、県内開催件数を上方修正する。 JAバンクちよきんぎょプール(観客席スタンド)の改築 競技関係団体との協議の結果、施設の仕様や工事の実施期間が決定したため、令和4年度の目標を新たに追加する。	未来・ 県土・ 教育
			国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計) ('17) - ('22) 20件	5件	10件	15件	20件	国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計) ('17) - ('22) <u>40件</u>	5件	10件	<u>30件</u>	<u>40件</u>		
			県立中央武道館空調設備の設置及び受電設備の改修 ('19) 完了											
			鳴門・大塚スポーツパーク第2陸上競技場の走路改修 ('19) 完成											
			ポカリスエットスタジアムの走路改修 ('21) 完成											
			JAバンクちよきんぎょプール(50mプール)の改修 ('19) 完成											
			JAバンクちよきんぎょプール(観客席スタンド)の改築 ('19) 設計着手					JAバンクちよきんぎょプール(観客席スタンド)の改築 ('19) 設計着手・('22) <u>工事推進中</u>						
			徳島科学技術高校「アーチェリー場・ウエイトリフティング場・弓道場」の改築 ('19) 完成											
			阿南光高等学校の多目的球技場整備 ('20) 完成											

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

主要事業実施工程表（5-1 脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
515	5-1-3	186	「環境首都とくしま・未来創造憲章」に掲げる行動指針「食物の恵みに感謝し、食材を無駄なく使い、食べ残しはやめましょう」に基づき、「食品ロスの削減」に向けた取り組みを推進します。<危機>	推進									教育現場における小・中学生に対する食品ロス削減の取組みが重要なことから、食品ロス削減推進法の制定及び食品ロス削減全国大会の本県開催を契機に令和元年度から小・中学生に対する啓発を強化しており、今後とも食品ロス削減先進県として全国をリードしていくため、さらに啓発活動を推進する。	危機
			「食品ロス削減全国大会」の開催('19)開催											
			食品ロス削減の啓発活動の実施数(累計)('17)11件 ('22)60件	30件	40件	50件	60件							
			「とくしま食べきるんじょ協力店」登録店舗数(累計)('17) - ('22)90店舗	60店舗	70店舗	80店舗	90店舗							
			「食品ロス削減モデル」の構築('21)構築											
新規								小中学生に対する「食品ロス削減」啓発人数(累計)('17) - ('22)7,500人			6,000人	7,500人		

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

主要事業実施工程表（5-2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
522	5-2-1	188	地球防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立・分散型電源」導入支援制度を創設します。(再掲)<危機>	推進											「自立・分散型電源」導入支援制度を引き続き実施し、災害に強い電力レジリエンスの向上に向けた事業者等の取組を支援する	危機
			「自立・分散型電源」導入支援制度の創設('19)創設													
新規												10件	15件			
523	5-2-1	188	地球温暖化対策や平時における電力の地産地消の推進、さらには災害時の非常電源として活用が期待できる水力発電の普及を図るため、溪流に設置可能なピコ水力発電機の実証実験や、先導的モデルとなる小水力発電所の整備に取り組みます。 これらの取組みや実験データを公表することによって、自然エネルギーの普及促進を図ります。(再掲)<企業>	推進				地球温暖化対策や平時における電力の地産地消の推進、さらには災害時の非常電源として活用が期待できる水力発電の普及を図るため、溪流に設置可能なピコ水力発電機の実証実験や、産学官の連携等により、先導的モデルとなる小水力発電の導入支援に積極的に取り組みます。 これらの取組みや実験データを公表することによって、自然エネルギーの普及促進を図ります。(再掲)<企業>	推進						・県政運営評価戦略会議において、「小水力発電については、引き続き施策を推進してもらいたい」との提言を受け、関連事業において、小水力発電導入の推進を図る。 ・小水力発電の導入を図るためには、地域における理解や協力、普及のための技術的・コスト的な課題解決が不可欠であり、地元自治体等の積極的な関わりや大学、民間企業等による地域に根ざした開発が必要であるため、企業局の持つ技術、知識、経営手法を最大限活用した導入支援により、産学官の連携等による先導的モデル構築を目指す。	企業
			自立・分散型エネルギーの普及拡大('19)～('22)小水力発電所の整備・運用					自立・分散型エネルギーの普及拡大('20)～('22)小水力発電の導入支援								
			自然エネルギー地産地消モデルの普及促進('19)～('21)ピコ水力発電機の実証実験(2箇所)・('22)説明会の実施													
			自然エネルギー導入促進のための技術支援('19)～('22)相談窓口による支援													
526	5-2-1	189	産学官金による自然エネルギーの推進体制として、「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」を創設し、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の実現に向けた取組みを推進します。<危機>	推進											19年に創設した「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」により、「2030年・自然エネルギー電力自給率50%」を目標とする「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の具体化へ向けて取り組んでゆく。	危機
			「自然エネルギー活用プロジェクトチーム」の創設('19)創設													
新規												4項目	6項目			

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

主要事業実施工程表（5-4 徳島発！持続可能な行政手法の発信）

番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局		
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)				
575	5-4-2	198	徳島の注目度をアップさせ、県勢の発展につなげるため、時代に即した利便性の高い広報媒体を有機的・効果的に活用し、県民はもちろん国内外の方に魅力的な情報発信を展開します。 また、県民からの提言等を積極的にくみ取り、県の施策に反映します。<経営>	推進				徳島の注目度をアップさせ、県勢の発展につなげるため、 <u>利便性の高い広報媒体を有機的・効果的に活用し、ターゲットに応じた情報発信を行うとともに、ダイバーシティの視点に立った戦略的な広報を展開します。</u> また、県民からの提言等を積極的にくみ取り、県の施策に反映します。<経営>					本県の広報戦略として、新聞、テレビ・ラジオ放送、県HPやSNSなど、様々な広報媒体を活用し、ターゲットを絞った情報発信や、必要とされる方へ必要な情報が届くよう、ダイバーシティの視点に立った広報を展開するとともに、令和2年度の実績見込みが目標値を大きく上回ると推計されるため、「徳島県SNS」利用登録数を上方修正する。	経営		
			「徳島県SNS」利用登録数 (17) 130,000件 (22) 160,000件	142,000 件	148,000 件	154,000 件	160,000 件	「徳島県SNS」利用登録数 (17) 130,000件 (22) <u>426,000件</u>	142,000 件	148,000 件	<u>414,000 件</u>	<u>426,000 件</u>				
			外国語コンテンツの充実発信 (19) 実施													
			海外向けSNS広告の導入 (19) 導入													
			県民密着型テーマによるケーブルテレビ番組の制作・放送 (19) 制作・放送													
			5G時代に向けた職員によるVR動画の制作・発信 (19) 制作・発信													
577	5-4-2	198	多くの県民に県政を身近に感じ、親しみを持ってもらうとともに、県民からの意見・提言等を積極的に県政に反映させるため、県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」の活用や、AIを活用した多言語対応の全庁的なFAQシステムの開設により、県政情報の効果的な発信などに取り組みます。(再掲)<監察>	推進										「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」に名称が確定したため。	監察	
			県庁舎見学参加者数 (17) 617名 (19) ~ (22) 年間680名以上	680名	680名	680名	680名									
			県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」 展示等件数 (17) 40件 (19) ~ (22) 年間50件以上	50件	50件	50件	50件									
			「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ(仮称)」の 開設 (20) 開設					<u>「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」の 開設 (20) 開設</u>								

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

主要事業実施工程表（5-4 徳島発！持続可能な行政手法の発信）

番号	行動計画 該当箇所		(現行) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局
	位置 づけ	該当頁		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		
59201	5-4-3	200	県民の利便性向上及びキャッシュレス化を推進するため、自動車税等の電子収納開始に向け、全庁的な電子収納基盤を整備するとともに、税外収入について多様な収納手段の拡大を図ります。＜出納＞		推進			自動車関係ワンストップサービス開始に向けて、電子収納基盤の整備を図るとともに、税外収入についてもコンビニ収納・スマホ決済などの多様な納付手段を構築することで、県民の利便性向上及びキャッシュレス化を推進します。＜出納＞					スマートフォンなど「キャッシュレス」による電子決済は、消費税増税時の「キャッシュレス・ポイント還元事業(R元。10月～R2.6月)」を契機に普及が進んだことに加え、「非接触型」決済であることから、コロナ禍において注目度が高まっている。一般歳入金に電子収納を導入することで、「県民の利便性の向上」や「新しい生活様式の確立」を推進する。	出納
新規								税外収入のコンビニ収納・スマホ決済などの多様な納付手段の構築 (21)構築						
594	5-4-4	201	公有財産の有効活用を図り、地域の社会貢献活動や経済活動に資するため、「県有施設空きスペース」の貸付や「未利用財産」の公募による貸付、既存施設の「転用」や「再生」による利活用を行います。＜経営＞	推進									令和2年度の実績見込みが目標値を上回ると推計されるため、成果の更なる向上を目指し、既存ストックの有効活用事例数の目標数値について上方修正する。	経営
			既存ストック有効活用事例数(累計) (17) 33件 (22) 38件				38件	既存ストック有効活用事例数(累計) (17) 33件 (22) 42件				42件		
599	5-4-5	202	NPO・ボランティア活動など県民の参加と協働による共助社会の実現に向け、「とくしま県民活動プラザ」を拠点とした社会貢献活動に対する総合的な支援や各種取組みを推進します。＜未来＞	推進									令和元年度実績値が数値目標を上回ったことから、上方修正する。	未来
			「とくしま県民活動プラザ」の登録団体数 (17) 532団体 (22) 550団体	535 団体	540 団体	545 団体	550 団体	「とくしま県民活動プラザ」の登録団体数 (17) 532団体 (22) 580団体	535 団体	540 団体	575 団体	580 団体		
			「ゆめバンクとくしま」への寄附金を活用した助成件数 (17) 10件 (19)～(22)年間10件	10件	10件	10件	10件							
			アドプト・プログラム登録団体数 (17) 729団体 (19)～(22) 730団体以上	730 団体	730 団体	730 団体	730 団体	アドプト・プログラム登録団体数 (17) 729団体 (22) 790団体以上	730 団体	730 団体	790 団体	790 団体		